

令和4年度 長野県林業大学校学校評価に対する外部評価について

1 全体

【質問】自己評価で「B」が多いのは新型コロナの影響で積極的に活動できなかったためか。

【回答】ほぼ目標通りの活動ができたということで「B」評価が多かった。目標を上回ったという「A」評価は、コロナの影響で学生の活動が停滞したため少なかったと考えている。

2 地域との連携強化

【質問】地元企業等から構成された「我ら林大応援団」からの支援内容について教えてほしい。

【回答】JLC 青森大会への参加学生の旅費の半額助成や、地域のコミュニティ雑誌に本校の取組を掲載・紹介させていただくための費用に活用させていただいた。

3 カリキュラムの見直し

【質問】現在のカリキュラムは、従来から必要とされている科目をオーソドックスに掲げていると思われるが、これからは、学生が知りたがる・欲しがる科目を実現していけるかが問われている。また実際の就職後をふまえた教授内容について、産業界からの要望をヒアリングしているとのことだが、科目としてどのように反映していく考えか。例えば、獣害対策として狩猟やその後の利用についても加えること、製材や川下との結び付きを科目や実技の中で充実させていくことが課題かと思っている。

【回答】具体的なことはこれから検討していくが、課題として、新たな科目を加える場合には、現在の科目から何かを削っていくことも必要になると考えている。

【要望】外部講師を新たに依頼する場合には、林業大学校のコンセプト（教育・育成方針）をしっかりと共有し、そのために必要な授業内容等を学校としても積極的に要望し、教育内容を実質化してほしい。

4 教育活動

【要望】性能技術が日進月歩の今の時代、高性能林業機械は3～5年で世代が古いものとなり、伐採や架線運搬の効率やコストも林業機械の導入で大きく変わる時代なので、授業や実習の中で常に最新式の林業機械を学生に紹介し、幅広い進路選択の糧となるようにしてほしい。

5 教育環境の整備

【意見】新型コロナの影響で、授業する場所を教室から講堂等に変えて対応してきているが、学生を教える環境としては課題もあるので、学生が集中して受講できる工夫をしていく必要がある。

【回答】来年度以降の講義場所をどこにするかも含め、できるだけ学生が授業を受けやすい環境を目指して検討していきたい。